

市長 「県庁の星」「バッテリー」「男はつらいよ」などの「映画のロケになったまち」と売り込んでいくのも一つの方法。

今後は、もっと高梁の歴史的なまち並みや、景観を生かしていきたい。備中松山城を中心としたまちづくり、そして、宇治から吹屋、坂本、成羽と巡る歴史的なまちの活用など、その組み立てをどうするかを考えているところです。

高梁の魅力をアップさせることは行政だけでできるものではなく、住民の皆さんの協力が不可欠です。市の計画などをつくるときに、皆さんと一緒に取り組んでいただかないと、良いものはできないと思っています。

寺山城社は、地域の皆さんのご協力をいただき、昔、寺山城がどんな形だったかを調べることができました。

このように、皆さんが自分のまちの歴史をもっと勉強し、地域で守り続けていくという形をつくり、PRには市も協力していくというような形が理想だと思います。

岩本崇志 議員(中井小)

中井小では「中井環境守り隊」「スマイルフレンド隊」「中井健康増進隊」「いいとこ中井PR隊」の4つのプロジェクトを立ち上げ、方谷園の清掃活動などを行っています。

・方谷園が市の公園になっていないと聞きましたが、みんなの公園であってほしいと思います。

・来年は方谷園ができてから100年。もっと方谷園や郷土の偉人・山田方谷先生をPRしてはどうでしょうか。

市長 山田方谷先生が残された足跡は、方谷橋、方谷園など市内に多く残っており、皆さんによく知っていただき、顕彰していくことは大切なことだと思います。方谷園は中井町の皆さんだけでなく、市民の皆さんが顕彰する公園であってほしいの



で、まちづくり協議会の皆さんと相談しながら整備していきたい。

備中松山城から市街地にかけての整備を検討していく中で、方谷先生の足跡をたどれるようなことも皆さんと一緒に考えていきたい。

杉 千春 議員(有漢西小)

有漢西小では、給食の材料の野菜などを地元の農家から提供していたでいています。また、

学校の授業で2年間「食」について勉強し、栄養のバランスの大切さなどを学びました。

そこで、給食をもっと身近なものとして毎日楽しく食べるように、私たちが考えた給食の献立を取り入れてはもらえないでしょうか。

教育長 有漢町では、学校と給食センターで「食育から広げる生活リズム向上プラン」の研究



に取り組んだり、「朝ごはんコンテスト」を行うなど、「食」についての関心を深めていただいています。

「地産地消」「野菜を作ってくださる人とのふれあい」「食生活の学習」などを目的に、市内の学校給食センターでは、今年度新たに「高梁市の味めぐり」として、市内の特産物を生かした献立を取り入れた給食を4回実施しています。

今回の提案を取り入れ、可能であれば、来年1月24日〜31日の全国学校給食週間で実施したいと思っています。

高下郷美 議員(布寄小)

布寄小は児童数が減ってきています。児童数が増えて地区がもっと元気になってほしいと考えています。そこで、ピオーネ

◻
を作りたい人を呼び込んだり、多くの人が働けるような大きな工場を作ってみてはどうでしょうか。

市長 布寄地区をはじめ、市内には、きれいな自然、おいしいお米やピオーネなど、ほかの地域にはない良いものがたくさんあり、こうしたことを都会の人にもっと知ってもらいたいと思っています。

例えば、高梁で農業をしたいと考えている人たちに、農作業を教えてあげられるような仕組みができないか考えているところですが。そうすればトマトやピオーネを作りたいという人が増えてくるはず。技術を身に付け、農業に魅力を感じることができるとな取り組みをしていきたい。

市内では高齢化が進み、活力がなくなっているということも



事実ですが、自分たちが住んでいる地域をどうすればよくなるのかを考えてもらったり、意見を言ってもらうことが大切で、いろいろな人の考えの中から、まちの進むべき方向が見えてくるはずですが。市民と行政が協働していくことで、これからのまちづくりにつなげていきたい。

平野桃花 議員(川上小)

川上小では「ぎじ丸合宿」で、高山小学校を使いました。とてもきれいな学校で、地域の人も触れ合えて良い思い出になりました。今後も、宿泊研修やイベントでの利用を考えていけばと思います。今後の高山小学校の有効利用について、市はどのように考えていますか。

教育長 高山小学校舎は平成11年7月に建て替えましたが、児童数が年々減少してきたため、平成15年4月から休校になっていきます。

日ごろ利用していないので建物のあちこちが傷んでおり、このまま休校が続くと今以上に傷みが激しくなることが心配されます。建て替えのために国から

補助金をもらっていたので、法律で10年間は学校以外の目的では使用できないことになっていました。来年3月で10年になることから9月定例会市議会で廃校することを承認していただきました。今後は、学校以外の施設としても利用が可能になります。

何に利用するか現段階では決まっていますが、宿泊研修施設への利用や資料館への利用はどうかという提案は、大変良い提案だと思います。

高山小学校の近くには弥高山があり、すばらしい自然環境に恵まれています。こうした地理的、環境的条件なども考慮するとともに、現在実施中の地元アンケート調査の結果などを踏まえ、活用方法を研究していきたい。



原田達矢 議員(富家小)

備中町には、市役所まで車で1時間以上かかるところに住んでいる人が多く、お年寄りが病院や買い物に行ったりするのは大変だと思います。こうした人に、市はどのような補助をしていますか。

市長 高齢者や障がいのある人などが、病院への通院や買い物などの外出を容易にするためのサービスとして、「福祉移送サービス」を実施しており、平成20年度に延べ5289人が利用されています。このほかにも、高齢者の自宅にお弁当を配達する「配食サービス」なども行っています。

市内西部地域(成羽・川上・備中地域)では、備北バスの廃止さ